



林町パラリンピック 10/2 (土) (林町デイセンター)

あゆみの家

No. 129号

パラリンピックが終わって思ひ出す...

八月に東京パラリンピック2020が実施されました。オリンピックに負けないくらいに日本中が盛り上がり、世界のパラリンピアンが素晴らしいパフォーマンスにテレビの前でくぎ付けとなりました。男子車椅子バスケットボールでは、あゆみの家がある、垂井町在住の選手が大活躍し、銀メダルを獲得する快挙で大変盛り上がりました。様々な障がいを持つアスリートが、私たちには、想像できないような努力、研究、工夫、練習を重ね、試合に臨む姿をみて、今まで知らなかった数々の競技について学び、理解し、興奮し、感動を味わうことができました。テレビでも連日競技が放送され、選手のインタビューやプロフィール、これまでの取材ビデオも放送され、司会者や多くのコメントーターが、パラスポーツの素晴らしさ、社会の障がい者に対する継続して理解を深めることの大切さ、共生社会の重要性を声高らかに訴えていました。

あれから四カ月が過ぎました。その後、障がいを持つ方々への社会の理解を深める活動、共生社会の重要性について、メディアでどれだけ伝えられているでしょうか。

私たちの暮らす社会では、障がいを持つ方々へ、関心を寄せる機会が圧倒的に少ないと感じます。あゆみの家の利用者の皆さま、そのご家族、また働く職員にとっては、障がい福祉が身近なところであり、常に関心を寄せていますが、社会の大多数の人々にとっては、普段関わりのない世界なのだ、パラリンピックが終わって数カ月たち、あれほどまで毎日、障がい者への理解、共生と叫んでいたことがヒタリと止んだ今、逆に強く感じています。

そもそも、『共生社会』という言葉を目標に掲げなければならぬ世の中そのものが、まだ未成熟な社会なのだと感じます。共に同じ時代、同じ社会で、誰もが豊かに、個人の尊厳、権利が守られて生きていくことは、ごく当然のことなのではないでしょうか。

現実には、まだまだ社会全体に『共生』という言葉の本当の意味が理解されていません。私たち、障がい福祉に関わる者は、日々、このことを意識し、社会に発信していく役割を担っていると思います。『共生社会』という言葉そのものが、不必要になるくらい、社会が成熟していくことを願っています。

夢をもって

前理事 名和 公一



五十年前、養老山のふもとレンゲが一面に敷きつめられている田んぼの中に寝転んで、私は空を見上げながら神様はここにどんな夢を実現して下さるのだろうと思いつぐらせていました。ポーマン先生の熱い思いに大垣教会のメンバーが揺り動かされ、カモナにもない私たちが、望み得ないものを望みつつ信じた結果、まずはじめに、今はありませんが、赤い屋根のあゆみの家が与えられました。利用者三名、職員二名、また多くのボランティアの方々を支えられてのスタートでした。あれも欲しい、これも欲しいという思いが次々にかなえられ、はじめの頃の三年間位は一年に一つの建物が建てられる程でした。「願いを起こしつつ、かつ実現に至らせるのは神である。」との御言葉を実感する毎日でした。

五十年がたち、現在では利用者(百六十名)、スタッフ(百六十名)、事業所(八)と大きく成長させていただきました。いろいろな部分が整えられて来たとは思いますが、あゆみの家の理念としてかかっている御言葉「わたしの目にはあなたは価値高く貴い。」(イザヤ書四十三章四節)に基づいて、利用者一人一人が尊重され、家族にも安心してもらえ、また働いて下さ

るスタッフにも喜びとなるようなあゆみの家としてこれからも歩んでいってほしいと思います。

あゆみの家も世代交代の時を迎えています。この間、朝のドラマの中でこんな言葉を聞きました。「何かを続けることは、同じことを続けることではない。変えるべきものは変えるべきである。大事なもののさえ変えなければ良い。」。今まで大切にしてきたことを是非守ってほしい。

理事として長い間関わらせていただきましてありがとうございます。ですが、開始当初、ポーマン先生と働かせていただきました事、ありがたく感謝しております。これからも大きな夢を描いて、実現に至らせて下さる神様に期待して歩んで下さることを祈っています。

名和公一前理事は、あゆみの家の創設時から、故ポーマン師と共に、あゆみの家の設立、設立後の運営のため尽力してくださいました。2021年6月に理事を退任されました。長い間、本当にありがとうございました。【事務局より】



「在職者交流会を通して働くことの大切さ」

西濃障がい者就業・生活支援センター

生活支援ワーカー 小島 真理奈

就業・生活支援センターでは、センターに登録している在職者の定着支援を目的に年二回の交流会を開催しています。毎回テーマを変え、対象者同士が交流しながら日頃悩んでいることや気になることを話し合います。少しでもたくさんの方が集まれるように工夫を重ね、参加した方が話しやすい雰囲気を作ることが心がけています。

前回行った交流会のテーマは「働くことの大切さ」です。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、大垣市青年の家（講堂）で開催しました。参加者は、今年特別支援学校を卒業したばかりの入社一年目の方から十数年同じ会社で働き続けている方等、計六十名。働くことに関して大切だと思うことを数字に当てはめ、普段意識してできているかどうかを確認しながらビンゴゲーム形式で話し合いをしました。ビンゴの項目は二十五個です。朝自分で起きている、報告・連絡・相談ができています、感謝の気持ちを伝えている等、働くためには必要なことばかりです。しかし、中にはできていないことに気づく方や最後まで自分はそうは思わないと厳しく評価している方もいらっしゃいました。ビンゴという楽しいゲームを通して、改めて自分の行動をチェックすることで自分を

知り、翌日からの仕事に活かしてほしいと思います。できていると書いていたけどもっと頑張れると思うこと、できていなかったけど明日から意識してやってみようと思うこと、あの人も頑張っているから自分も頑張ってみようと思ってもらえることが私たちの思いです。

実際に悩みや壁にぶつかってくじけてしまう方に話を聴くと、わからないことをそのままにしていたり、コミュニケーションがうまくいかなかったりすることが多くあるようです。定期的に自分自身の思いや周りの考えを整理して振り返ることで、本当の課題に気づき、解消へと向かうことができると思います。私自身も複雑に考えすぎてしまうことがあり、仲間に相談しながらどのように支援を行っていくかを模索しています。話を聴いてもらっているうちに、だんだん自分の考えがまとまってきて、意外と「基本的（根本的）なこと」にたどり着いていくのだと気づくことがあります。私たち支援者は、普段の支援の中で対象者のつまずきや課題に寄り添い、同じことを繰り返し返さないよう、また何度も振り返りを行いながら、より良い働きができるようサポートしたいと思っています。定期職場訪問の時とは違う対象者の表情や行動が見られるのも交流会ならではです。今回の交流会では、自分自身の行動を振り返る良い機会となったと思います。次回の交流会も、対象者も職員も楽しめる会となるよう企画したいと思います。

秋の大運動会

第二あゆみの家 生活支援員 伊藤 穂乃花

第二あゆみの家では毎年行事の一環として日帰り旅行に行っています。現在はコロナ禍ということで代替として施設内でする催し物を職員で提案し行っています。今年度は赤・青・黄・緑チームに分かれ、秋の大運動会を行いました。当日は利用者・職員共に同じ色の服で合わせたり、チーム全員が同じ装飾を施すなど気合十分で望みました。各チームのキャプテンの大きな声での宣誓により壮絶な戦いが始まりました。玉入れ、玉転がしリレー、二人三脚などの競技を行う中で必死な表情で走りぬく姿や悔しくて涙を流したり、みんなが走っている姿を見て笑ったり、元気に職員とハイタッチをする姿。迅速に次の競技に進めるよう率先して片づけを手伝ってくださるなど普段はなかなか見ることができない様々な姿をみることが出来ました。



行動障がいを持つ方やイレギユラーな時間が苦手な利用者さんにとつて、行事に参加することは難しいことです。また、利用者さんの中には車椅子を使用されている方や目や耳が不自由な方もみえます。しかし、今回の運動会では職員が傍について手を引いたりなど配慮することでも全利用者さんが競技に参加することができました。私はこのことがとても価値のあることに感じました。日々の活動だけでなくあらゆることに対してやる気に満ちており、色々な競技に全力で取り組んだり、ひたむきに頑張れる方。中にはやりたくないのにも思ってみえた方もいたかもしれない。ですが、職員やチームのメンバーである利用者さんからの声援を受けて仕方がないかといった表情で参加できる姿などもあり、利用者さんの心の温かさなども感じることができました。今後も第二あゆみの家で過ごされる利用者さんの日々の安心して過ごすことの出来る生活に加え、みんなが夢中になれる特別な一日を過ごして頂く機会を設けていきたいと思います。



各種委員会活動の紹介

あゆみの家では、利用者へのサービス向上のため、各種委員会を開催しさまざまな課題に取り組んでいます。その活動状況を紹介します。

広報・ホームページ委員会

委員長 神崎 勝弘

広報委員会では、一年に四回、皆さまに読んで頂いているこの、広報誌を編集、発行しています。四半期に一度の発行で、その間にあゆみの家でどんなことがあったかをお知らせするものです。各事業所の出来事を順番に記事にし、日頃よりお世話になっている皆さまにもっとあゆみの家を身近に感じて頂き、ご理解いただけるようにと願っております。

昨年の始めより、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、あゆみの家も感染防止の観点から、さまざまな行事の縮小開催や中止、日々の活動の制約など、大きな影響を受けてきました。広報誌で、例年ですと、あゆみの家祭やクリスマス祝会、事業所によっては日帰り旅行や、一日外出、仲間と共に楽しい外食の様子などお伝えしてきましたが、それもなかなかままならない状況です。そんな状況ですが、各事業所で様々な制約のある中、利用者の皆さま、スタッフが知恵を出し合って、楽しく、充実した活動が少しでもできるように創意工夫をしています。広報誌では、そんな、工夫の様子も皆さまにお伝えして

きました。今後もこの状況がまだ続くことと思いますが、皆さまに、「あゆみの家は元気になっています！」と、お知らせできるようにしていきたいです。世の中、情報の伝達方法が多様化しており、広報誌も皆さまにもっと楽しんでいただけるよう、今後も委員会で検討してまいります。

情報の伝達方法の多様化の話をさせていただきましたが、あゆみの家ではホームページも開設しております。そのホームページの中に、つぶやきブログというものがあり、この記事に関しては、各事業所のホームページ委員、担当者が、ほぼ月に一回程度の頻度で、よりリアルタイムに各事業所の様子を楽しい写真や文章を交えて発信しております。お時間のある時に、皆さまも是非、ホームページのつぶやきブログを覗いてみてください。左記のQRコードをスマートフォンのカメラ等で読み取っていただくとあゆみの家のホームページが表示されます。



今後も、より分かりやすく、楽しいあゆみの家の情報をお届けできるよう工夫をしてまいりますので、良いアイデアがありましたら、是非教えてください。

あゆみの家祭

コロナ禍の為、各事業所にて楽しめる活動を行いました。

デイセンターあゆみの家



ぐっどらんど



ミニゲームとスタンプラリー

時計作り

林町デイセンター



第二あゆみの家



林町パラリンピック

ハロウィン

出来事ピックアップ



ぐっとらんど (9/3)
ひまわり祭り



第二あゆみの家 (9/11)
大運動会



きずな2006 (9/26)
お寿司出前



林町デイセンター(10/2)
林町パラリンピック



デイセンターあゆみの家 (10/23)
芋ほり



林町デイセンター (10/23)
ハロウィンイベント

行事予定

12/18 (土) クリスマス祝会

12/25 (土) 教会礼拝

最近のできごと (7/1~10/31)

- 7/ 5 (月) 労働局主催経験交流会議
(就労・生活支援センター)
- 7/ 6 (火) 駄菓子流し (林町デイセンター)
- 7/ 7 (水) 養老町役場販売 (ぐっどらんど)
- 7/13 (火) 平和堂販売 (ぐっどらんど)
- 7/15 (木) 垂井町役場販売 (ぐっどらんど)
- 7/24 (土) 魚つかみ (第二あゆみの家)
- 7/29 (木) 肝試し (林町デイセンター)
- 8/ 7 (土) 夏祭り (デイセンターあゆみの家)
(第二あゆみの家) (林町デイセンター)
- 8/13 (金) 岐阜県就業・生活支援センター
連絡協議会 (就労・生活支援センター)
- 8/26 (木)~8/30 (月) 福祉の杜販売
【アクアウォーク】(ぐっどらんど)
- 9/ 2 (木) 第2回福祉ネットワーク会議
(就労・生活支援センター)
- 9/ 3 (金) ひまわり祭り (ぐっどらんど)
- 9/11 (土) 大運動会 (第二あゆみの家)
- 9/16 (木) 第1回企業ネットワーク会議
(就労・生活支援センター)
- 9/17 (金) 夜間避難訓練 (第二あゆみの家)
- 10/ 2 (土) ハロウィンパーティー (第二あゆみの家)
あゆみの家祭 (デイセンターあゆみの家)
林町パラリンピック (林町デイセンター)
- 10/23 (土) 里芋・さつまいもほり
(デイセンターあゆみの家)

共同募金 配分事業

今年8月20日(金)、岐阜県共同募金会より配分を受け、「第二あゆみの家」で使用するマイクロバス(車種は三菱ローズ)を購入することができました。

この車両は主に施設利用者様のドライブ等に活用させていただきます。みなさまの善意に感謝申し上げます。ありがとうございました。



ふれあい交流、ボランティア (7/1~10/31)

新型コロナウイルス感染防止対策のため、しばらくの間、受け入れを停止させていただいております。

編集後記

もうすぐクリスマスです。神さまであるイエス・キリストが高く素晴らしいところにおられたのに、私たちのために、地上に降りてくださって、さらには赤ちゃんとして誕生してくださいました。このコロナ禍や災害などでたいへん苦勞された方やつらい思いをされた方もいたと思います。そのような中にあっても神さまはいつも私たちと共にいてくださり、重荷を担って下さり、慰め励ましてくださいました。クリスマスのひと時、静まって神さまの愛に感謝したいと思います。(伊藤)

編集：社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原 2066-2

Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

URL <https://ayumi-ie.com/>E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

グループホームのご案内

- | | | | | |
|-------------------|---------------------|----------------------|--------------------|----------------------|
| ●あゆみホーム
大垣市三塚町 | ●めぐみホーム
不破郡垂井町表佐 | ●東神田ホーム
不破郡垂井町東神田 | ●別庄ホーム
養老郡養老町橋爪 | ●養老公園ホーム
養老郡養老町養老 |
| ●綾野ホーム
大垣市綾野町 | ●表佐ホーム
不破郡垂井町表佐 | ●習南ホーム
不破郡垂井町表佐 | ●あいかわホーム
不破郡垂井町 | |

ぐっどらんど

〒503-0984

岐阜県大垣市綾野5-47-2

TEL 0584-92-2799